

乳腺超音波検査

乳腺内の腫瘍や乳管拡張などの変化を観察します

乳腺超音波検査とは？

人体に対して害のない高周波の音波を用いて乳腺内を調べる検査です。乳腺の状態や腫瘍ができていないか・腫瘍が良性か悪性か・リンパ節が腫れていないか等を調べます。苦痛を伴わず、何度でも繰り返し検査することが可能です。近年増加傾向にある乳がんの早期発見に役立っています。

何が分かるの？

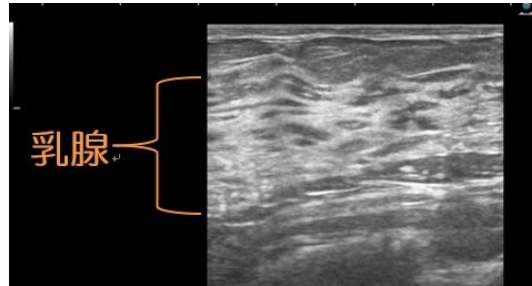
小さな腫瘍を見つける事が出来ます。また、乳腺や乳管の状態もわかります。

マンモグラフィと何が違うの？

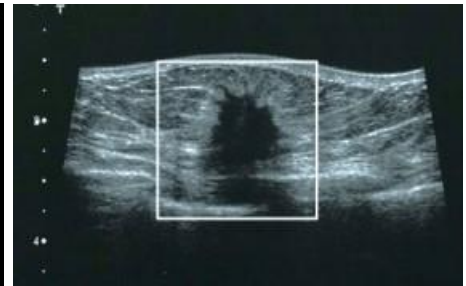
乳房超音波とマンモグラフィでは、見えるものが違います。乳房超音波は、しこりを作るがんの発見に有効な検査で、マンモグラフィは、石灰化を作るがんの発見に対して非常に有効な検査です。20・30歳代の方は一般的に乳腺が多いので、乳房超音波をおすすめします。

検査の流れ

- ①ベッドに横になりリラックスします。
- ②ゼリーをつけて、プローベを乳房へ当て観察していきます。
- ③検査時間はおよそ20～30分と人により差がありますのでご了承ください。
(所見内容により、追加の計測や観察などが必要になるため、時間を要する場合があります)



(正常乳腺)



(悪性例)

検査を受けるにあたっての留意点

- 食事制限は特に必要ありません。
- 脱ぎやすい上下分かれた服装でいらしてください。
- 当院では乳腺超音波は女性技師のみ対応します。